



プレスリリース

インフォシス基金、10 億ルピーを新型コロナウイルス感染症の救援活動に拠出

このうち、5 億ルピーは PM CARES Fund へ寄付

2020 年 3 月 30 日：バンガロール（インド） – [インフォシス](#)の慈善事業と CSR を担う機関である[インフォシス基金](#)は、インド国内の新型コロナウイルス感染症対策を支援するために 10 億ルピーを拠出することを発表しました。今回の拠出金の半分（5 億ルピー）は PM CARES Fund に寄付されます。

この拠出金は、同基金が優先的に支援する 3 つの領域で主に活用されます。

- インド全体で治療のための病院収容力を拡大し、特に経済的弱者層に属する新型コロナウイルス感染症患者の入院を可能にします。
- 人工呼吸器、検査キット、マスクやその他の保護用具などの個人用防護具（PPE）を前線で働く医療関係者に提供します。
- 現在の経済的悪影響に耐えている恵まれない人々が食糧と栄養を得られるようにします。

2 週間前に、インフォシス基金はバンガロールの新型コロナウイルス感染症患者専門病院の設立に対する支援を発表しました。また、同基金により、国全域の軍病院と政府系病院は医療機器と PPE を入手できました。同基金は、困窮している多数の人々に食糧と衛生用品を供給する各種 NGO も支援しています。

インフォシス基金の会長 Sudha Murty は次のように述べています。「社会全体がこの問題に立ち向かわなければならない前例のない時期です。インフォシス基金は、困難な状況にある国の必要性に常に対応してきました。そして、私たちはこの世界的感染症との戦いにおいて、政府、非営利団体、医療施設と引き続き連携していきます。私たちが目指すのは、治療費を払えない患者、あるいは医療従事者、または生活に深刻な影響を受けている日雇い労働者、誰であろうと救済物資を最も必要とする人に届けることです。」



インフォシスの CEO 兼 MD である Salil Parekh は次のように述べています。「新型コロナウイルス感染症の世界的流行は世界が直面した極めて厳しい苦難のひとつです。このような時期には、社会を支えるために、企業が政府、市民社会、医療施設と協力することが重要です。インフォシス基金は、インドと米国の両国で、今回の世界的流行の影響を強く受けた人々を支援するために人材と技術力を提供しています。」

インフォシス基金は、国全体に支援を広めるために州政府や非政府組織と協力しています。救済活動においてさらに支援が必要な州政府、医療提供者、非政府組織は、こちらのメールアドレス foundation@infosys.com へ具体的な要望を記載の上、ご連絡ください。当基金の対象となるイニシアチブを支援するため評価と検討をいたします。

インフォシス基金について

1996 年に設立されたインフォシス基金は、教育、農村開発、健康増進、芸術文化、貧困救済に対応するプログラムを支援しています。その使命はインドの辺境地で活動することです。インフォシス基金は、社会全体と協力し、限らない配慮でプロジェクトを選択し、これまで社会が見過ぎてきた地域で活動することを誇りにしています。詳細はリンク先をご覧ください。<https://www.infosys.com/infosys-foundation>

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。過去 30 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジアイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com